

市会議案第 2 0 号

老朽化した関西電力の原子力発電所の再稼働に反対し、
廃炉を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和 2 年 1 2 月 1 8 日提出

吹田市議会議員 山根 建人

同 五十川有香

同 玉井美樹子

老朽化した関西電力の原子力発電所の再稼働に反対し、
廃炉を求める意見書（案）

原子力発電所は、事故が発生した場合は被害が深刻であり、事故処理が困難であるという問題を抱えており、現在の科学技術での制御が困難であることは、東京電力福島第一原子力発電所の事故の犠牲からも明らかである。

それにもかかわらず、2016年（平成28年）に、原子力規制委員会は、稼働から40年以上が経過した高浜発電所1・2号機及び美浜発電所3号機の運転期間延長を認可し、関西電力は2020年（令和2年）9月に、美浜発電所3号機及び高浜発電所1号機の安全対策工事の完了と高浜発電所2号機の新工事の実施状況を発表した。現在、美浜発電所3号機及び高浜発電所1号機は、それぞれ来年1月と3月の再稼働に向けて地元の了解手続などを進めている。

しかし、運転期間延長の認可後に、発電所の設備トラブルや安全対策工事での人身事故が相次いだほか、関西電力の幹部による不祥事の発覚や、使用済み核燃料の中間貯蔵施設の候補地も未定のままであるなど、多数の問題が発生している。老朽化した原子力発電所は、事故の危険度が増すため、再稼働せず、廃炉にすることが必要である。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、老朽化した関西電力高浜発電所1・2号機及び美浜発電所3号機の再稼働に反対し、廃炉にするよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月 日

吹 田 市 議 会